



2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ
RCは分かちあいの心
2007~2008年度
ウィルフレッド J. ウィルキンソン

Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：岩本 成郎
幹事：西本 哲
クラブ広報委員長：亀井 直人
例会日：毎週木曜日PM12:30~
会場：ヒルトン名古屋
事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1338回例会

～職業奉仕月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2007年10月11日(木) 曇 第14回

司会：渡辺喜代彦会場委員長
斉唱：「我等の生業」
ゲスト：2007~2008年度RI第2760地区職業奉仕委員
小島 清路さん

会長挨拶

岩本成郎会長

皆さんこんにちは。
一秋は夕暮—
金木犀の心地よい香りがそこはかとな
く漂ってきました。本番前の練習か祭りば
やしの笛の音も遠くから聞こえてきます。
昨日はかまびすしい街でも少し歩けば秋
を感じさせます。



とりわけ空は高く青く西の方はやがて
茜色に染まっていく、「秋は夕暮」という枕草子の言葉通りこ
の季節の夕暮れは格別な印象と思います。

スコットランドの民謡をもとに大和田建樹という人が作詞
をした「故郷の空」などは実に味わいがあります(夕空晴れて
秋風吹き、月影落ちて鈴虫鳴く)。もう一つあります(思えば遠
し故郷の空ああ我が父母いかにおわす)。「故郷の空」です。例
えば昨日も別々に同じ夕日を見たかも知れない。ふとお互いを
思う家族がいたかも知れない。秋の夕暮れは人それぞれ思いが
でき若い人には希望の茜色であり青春から遠くなった人には
安息をすすめるようにも思います。さて台風が各地に激しい爪
痕を残して多くの人に痛手を与えた今年の秋、暗い事件も続
くけれど自然や世の中が幾分穏やかに映る夕暮時はつかの
間の事とてささやかな安息と優しさをもたらしてくれるそんな
時間と思います。

予報欄には嬉しい天気マークが並んでいます。

出席報告

岩田修司出席委員

会員72名 出席49名 (出席計算人数50名)

出席率76.0% 10月 2日は補填により 88%

幹事報告

西本 哲幹事

- 本日例会終了後第3回クラブアッセンブリーと第4回理事会を4F「藤の間」にて開催致します。出席義務者はよろしくお願
いします。
- 次週10月18日は職場例会です。「丸屋・玉の湯」で開催致しま
す。
- 第6回ロータリー囲碁全国大会の案内が来ております。11月
24日(土)10時から東京市ヶ谷の日本棋院会館にて開催され
ます。参加希望者は事務局までご連絡下さい。
- 事務局の前田さんが都合により退職されます。10月19日(金)
までの勤務になります。

臨時例会変更のお知らせ

名古屋南	10/24(水)※			
名古屋東				11/12(月)
名古屋守山	10/24(水)※			
名古屋みなと	10/26(金)			
名古屋東南	10/24(水)※			
名古屋名東	10/23(火)		11/6(火)	
名古屋千種		10/30(火)	11/6(火)※	11/13(火)
名古屋大須	10/25(木)			11/15(木)
名古屋名南		10/30(火)◇		
名古屋名駅	10/24(水)※			
名古屋昭和		10/29(月)		11/12(月)
名古屋東山			11/8(木)	
名古屋空港		10/29(月)		11/12(月)
名古屋清須	10/23(火)※	10/30(火)※		
あま	10/22(月)			
尾張中央	10/24(水)※			
名古屋城北		10/30(火)※		

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
◆はサイン受付時間が17:00~18:00となります。
◇はサイン受付が17:30~18:30となります。

ニコボックス

岩田修司ニコボックス委員

- 10月19日は私の誕生日、10月28日は結婚記念日です。
森 真佐雄さん
- 10月6日は誕生日でした。
高木 勝さん
- 今月女房の誕生日です。
佐藤 善乙さん
- 10月10日妻の誕生日にすばらしいお花ありがとうございました。
小串 和夫さん
- 1)9月のロータリーゴルフ例会で3年振りの優勝を致しまし
た。私はグランドシニアになりましたので当日はゴールドマ
ークからプレーするつもりでしたが同伴の入山さんが白マ
ークから打てと云われ嫌々白から打ちましたところ思いがけなく
42.39と久々の好スコアが出てしまいました。私に自信を与
えてくださった同伴競技者本多さん、内田さん、入山さんに感謝
致します。
2)高村さん先日のヤナでの落鮎料理とてもおいしかったです。
野崎 洋二さん
- 1)敬老のお祝ありがとうございました。
2)欠席が続きました。
森 恒夫さん
- 地区新世代委員会、いろいろと悩みが多いです。
遠山 堯郎さん
- 職業奉仕月間にちなんで地区職業奉仕委員小島さんに卓話
をお願いしました。
大島 浩嗣さん
- 昨日10月10日は名東RC30周年記念に西本幹事と出席しま
した。
岩本 成郎さん
- みなさんお久しぶりです。
宗宮 信賢さん

委嘱状伝達



2008～2009年度西名古屋
屋分区分会ガバナー補佐を務める
近藤雄亮さんに、岩本会長より
委嘱状が伝達されました。

2008～2009年度西名古屋分区分会ガバナー補佐 近藤雄亮さん挨拶

ただ今西名古屋分区分会のガバナー補佐委嘱状をいただきました。瑞穂RCのためにがんばりたいと思います。今まではガバナー補佐幹事でしたが次年度からは分区分会の幹事となります。皆様方のご協力もいっそうお願い致します。増田さんにおきましてはIMの発行委員長として、増田さんを中心に詰めていきたいです。高須さんと増田さんと3人で力を合わせて一生懸命がんばりたいと思いますので、皆様方のご協力お願いいたします。



10月誕生日おめでとう

高木 勝さん 梅村 昌孝さん 森 真佐雄さん
景山 和明さん 西本 哲さん 細川 達也さん

委員会報告

職業奉仕委員会:高木勝委員長

来週10月18日は職場例会となっております。会員の高村さんをお願いしまして、「玉の湯」という所で皆さんに体験入店をしていただくことを予定しております。時間の確認ですが、バスで行かれる方は必ず10時45分にロビーに集合して下さい。マイカーで行かれる方は現地例会会場の「懐仙」に直接、必ず11時45分までに集合して下さい。そして、当日は公共交通機関・バスで来られる方はご自由に飲んでいただいて結構ですが、クラブからはアルコールは出ません。入泉される方につきましては、バスタオルなどはすべて玉の湯さんの方でご用意しておりますので何も持たずにお越し下さい。時間の方だけ間違えないようにお集まり下さい。現地を14時30分に解散で、ホテルに15時15分着を予定しております。

野球同好会:馬場將嘉さん

11月2日にこの地区の野球大会(瑞穂vs豊田西)が予定されていましたが、人数が集まらなかったため今回は辞退することになりました。よろしくお祈りいたします。

事務局員 前田奈津さん挨拶



皆さんこんにちは。いつも例会でお世話になっております。この度11月8日の例会をもちまして、自分の都合により事務局を辞めさせていただくことになりました。昨年8月の後半から1年ほど務めさせていただきましたが、皆さまには大変お世話になりました。例会でお会いできるのも残り少しですが、最後までがんばりますのでよろしくお祈りいたします。

卓話 2007～08年度 第2760地区職業奉仕委員 小島 清路さん

「ロータリーにおける職業奉仕について」 ～職業奉仕の意味、ロータリーの中での位置づけ及び他奉仕団体との比較等～



今日は、「ロータリーにおける職業奉仕」とは何か、日頃見ることもない「ロータリーの綱領」には何が書かれているのか、ロータリーの本質は何か、ロータリーとライオンズとの本質的な相違は何か、職業奉仕から見たロータリー活動のあり方、等々について、を個人的な見解を踏まえて、お話をさせていただきます。

今日は、固くて重い話ですが、一度は、しっかりと聞いてほしい話と信じていますので、宜しくお願いします。

1. ロータリーにおける職業奉仕とは何か?

(1) 結論からいいますと、「ロータリーにおける職業奉仕」とは、「道徳的水準及び倫理感を高めるように努力しつつ、自己の天職たる職業(Vocation)を通じて社会に個人的に奉仕すること。」といえます。即ち、「ロータリアン個人個人が、優良な道徳観及び倫理観をもって優良な仕事をしっかりと顧客等に対して行い、信用・信頼を得、この顧客等の関係者により刺激を与えつつ、これにより得た適正な利益を従業員、取引業者、一般社会等に分配し、更に自己の業界において活躍し、それにより業界の発展に貢献し、以上全体により、社会に奉仕・貢献する。」というようなものと私は思います。

(2) 上記「ロータリーにおける職業奉仕」の内容の規定上の根拠は何か。

① 「道徳的水準及び倫理感を高めるように努力しつつ、自己の天職たる職業(Vocation)を通じて、社会に奉仕すること、の規定上の根拠」;

(a) 「ロータリーの綱領(The Object of Rotary)」に以下の下線に示す記載があること。「綱領」は英文では「目的」とあり、最も重要で規範となる規定です。

「ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある:

第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること、そしてロータリアン各自が(each Rotarian)業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること

(b) 「ロータリアンの職業宣言」(1989年)に下記の記載があること。更に、同様の内容が「職業奉仕に関する声明」(1989年)にもあること。

「事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。

1) 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。

(これは、職業も、その事業遂行に当たっては、多くの関係者、社会との係わりがもつものです。従って、そういう係わりのある過程において奉仕の気持を持って実践・行動する、と言う意味と思います。)

2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳規準に対し、名実ともに忠実であれ。

3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的規準を推進すべく全力を尽くせ。

4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上、関係をもつすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。

5) 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。

6) 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。

(c) 「ロータリアンの職業宣言」の中には、「事業」、「専門職務」、「業務」及び「職業」の4つの言葉が出てきており、各々区別されています。

この中で、「職業」の原語は"vocation"とあります。また、ロータリーの「手続要覧」第5章 職業奉仕のタイトルを原語(英語)で見ますと、"Vocational Service"とあります。

この"vocation"は「神のお召し。天職。天職意識。使命感」、「天職」は「天から命ぜられた職。神聖な職務。その人の天性に最も合った職業」という意味があります。

この「職業」の意味が、"Vocation"、天職というからには、この点からも、そのロータリアンは高度の道徳的水準及び倫理感をもっているか、又はそれを高めるように努力している

ということになります。

- (d) ロータリーに「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というモットーがあります。これは、職業奉仕の理念を表しているものであり、自らの事業における実践哲学ともいわれています。

以上より、ロータリーでいう職業奉仕とは、「ロータリアンは高度の道徳的水準及び倫理感を高めるように努力しつつ、天職たる職業を通じて」行うということになります。

②「個人的に」奉仕すること、の規定上の根拠：

ロータリーにおいては個人奉仕(I serve)が基本です。

- (a) 「綱領」に、①「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある」こと、即ち、各ロータリアン自身がこの各項目を実践するように研鑽に励むということ。②「ロータリアン各自(each Rotarian)が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること」、③「ロータリアンすべて(each Rotarian)が、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること」とあります。
- (b) 「ロータリアンの職業宣言」に、『事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。』とあります。
- (c) ロータリーには、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というモットーがあります。このモットーは、明らかに「彼も彼女もいずれも」という意味ですので、個人が主語といえます。
- 以上より、ロータリーにおける職業は「個人的に奉仕すること」ということになります。

2. ロータリーの本質は何か？

「ロータリーの綱領」(目的)をどう読むか？

「ロータリーの綱領(The Object of Rotary)」は英文では「目的」とあり、最も重要で規範となる規定です。

- (a) この綱領の前文は、第1～第4の各論の前提となる、最も重要なものです。ここに、「奉仕の理想(心、理念)を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある」とあります。「鼓吹・育成」とは、原語で、「encourage and foster」であり、これは、「励ます。奨励する。／促進する。育成する。育てる。」というものです。

このことから判るように、ロータリーは「奉仕の気持ちを育む場」であり、ロータリアンは、「奉仕の気持ちを育むように、例会等で刺激を受け合って勉強しよう、」ということを言っています。決して、団体で、金銭的な、また体を張った奉仕をしようとは、全く言っていません。

刺激を受け合って、またお互いに職業上の発想の交換をして勉強し、それを、自分の事業・職業に活かし、職業を通じて社会に奉仕しよう、そういう勉強をしようと言うものなのです。

- (b) 第1～第4の各論について、第1は「親睦」を、第2は「職業奉仕」を、第3は「社会奉仕」を、第4は「国際奉仕」を、各々、規定しています。

しかし、これらも、全文が前提となり、しかも、「特に次の各項を鼓吹育成する」とあり、「各々の親睦・奉仕を實踐できるように、また、その心を持てるように勉強・奨励しましょう」、というものです。

例えば、第1項の「親睦」についても、楽しく飲み食いをして親睦を深めれば良い、というのではなく、奉仕の心を勉強できるような場としての親睦を図りましょう、と言っているのです。また、第3項の「社会奉仕」にしても、「団体社会奉仕をやりましょう」とは言っていないで、「各ロータリアンが、社会奉仕ができるように、社会奉仕を實踐できるように、勉強・研鑽・奨励しましょう」、ということをやっているのです。

3. ロータリーにおける職業奉仕がロータリーにおける基本理念であるか？

ロータリーにおける社会奉仕はどう位置付けられているか？

ロータリーには金銭的奉仕、肉体的奉仕である団体的奉仕も、もちろん否定されておらず、大変重要なものでもあります。ロータリーの理念という意味では、職業奉仕が基本であるといえます。その理由は以下の通りです。

- (a) このことは「ロータリーの綱領(Object)」の前文、第1及び第2、特に前文に「事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹育成する」とあることから良く判るといえます。

- (b) 職業奉仕派と団体社会奉仕派とが、ロータリーの奉仕活動を巡って、大激論となり、その結果、その調整として、「社会奉仕活動に対する方針「決議23-34」が決議されました。

この決議の内容からいっても、職業奉仕が基本理念であるといえます。

- (イ) 「決議23-34」は、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すものとして1923年の国際大会で採択されたものです。これは、ロータリーは団体による社会奉仕活動をもっとすべきであるという強い動きに対して、団体による社会奉仕活動は制限されるべきであるという考えにもとづいてなされたものです。ロータリーとして、どんな社会奉仕をしても良いのではなく、例えば以下の趣旨の如く一定の制限を加えています。これにより、ロータリーの基本理念は職業奉仕であることを明確にするとともに、ロータリークラブにおける社会奉仕の位置づけを明瞭にして、両者の調整を図っています。

「ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンのすべてが(each Rotarian)その個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することである。(柱書)

- 3)c) ロータリーの綱領の趣旨にかなない、これを乱すような恐れのない社会奉仕活動を行う。

- 5) ロータリーの綱領を無視したり、ロータリークラブ結成の本来の目的を危うくするような社会奉仕活動を行ってはならない。

- 6) 各ロータリークラブの社会奉仕活動の指針として以下の準則が推奨されている：

- (a) ロータリークラブの社会奉仕活動は、…地域社会全体のために発言し、行動する適切な市民団体などの存在しない土地の場合に限り、これを行うこととすべきであり、商工会議所のある土地では、ロータリークラブはその仕事の邪魔をしたり、横取りをしたりすることのないようにしなければならない。

- (d) ロータリークラブは、仕事の重複を避けるようにする必要があり、総じて、他に機関があり、それによって既に立派に行われている事業に乗り出すようなことをしてはならない。」

以上より、ロータリークラブの社会奉仕活動としては、商工会議所等の他の団体が行っている社会奉仕活動はその団体に任せておき、それをロータリークラブが行うのは推奨できない、と言っています。

- (ロ) (g) クラブがひと固まりとなって行動するだけで足りるような事業よりも、広くすべてのロータリアンの個々の力を動員するもののほうがロータリーの精神によりかなっていると言える。それは、ロータリークラブでの社会奉仕活動は、ロータリークラブの会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験としてのみこれを見るべきであるからである。」とも明記されています。これから、ロータリークラブは、クラブ全体で行うような団体奉仕よりは、むしろ個人個人が行う個人奉仕を奨励しています。

ロータリークラブにとって、団体による社会奉仕も重要であり、現に、ロータリー財団、米山記念奨学、ポリオプラス、各種寄付及び愛知万博等において有用で高い評価を受けた、団体による社会奉仕活動も行っています。

しかし、ロータリークラブの基本精神は、事業及び専門職務の道徳的・倫理的水準を高めるべく研鑽しながら、天職たる職業(事業)を通じて個人的に社会に奉仕するという「職業奉仕」にあ

ると思います。そして、その職業奉仕を行うに当たって、いわゆる「4つのテスト」に照らして実践するということになると思います。このことを理解した上で、我々ロータリアンは、日々のロータリー活動を実践していくことが必要であると思います。そして、ロータリークラブは、そのような「奉仕の心を育む場」なのです。

従って、ロータリークラブは例会数も多く、例会出席義務が厳しいものとなっています。また、ロータリアンがその職業分野におけるリーダーであり、選ばれた人であり、そのため、入会も厳しく制限されています。

4. ロータリークラブとライオンズクラブとの本質的な相違は何か？

別紙に示すように、ライオンズクラブの「モットー」は、「We serve(われわれは奉仕する)」、「ライオンズ道徳綱領」の一つには、「すすんで時間と労力と資力をささげること。不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を惜しまないこと。」とあります。このことから、ライオンズクラブの基本精神は「団体による社会奉仕」(We serve)にあることが判ります。

一方、ロータリークラブにおいても、団体による社会奉仕ももちろん否定されているわけではありませんが、その場合は、ロータリー独自の新しく、しかも他団体に先駆けた団体社会奉仕が推奨されています。また、ロータリーは、社会奉仕の訓練の場、実験としての場であるとも言っています。従って、ロータリーの基本精神は、『事業及び専門職務の道徳的・倫理的水準を高めるべく研鑽しながら、天職たる職業(事業)を通じて個人的に社会に奉仕するという「個人奉仕」、また、ロータリーは、ロータリアン個人個人が奉仕の心を育む場、勉強する場である、ということになります。

両者ともに国際的な奉仕団体という点において共通していますが、このように、両者の基本精神は大きく異なっています。

5. 職業奉仕からみたロータリー活動とは？

ロータリーの本質を理解しますと、まず、4つのテストの素晴らしさ、これに基づいて職業活動をやろう、やっつけば良いんだ、という強い気持ちが出てくるものと思います。また、例会をおろそかにせずに、しっかりと勉強しよう、事業のヒントが何か得られないか、という積極的な気持ちになってくるものと思います。

また、例会に皆さんが少しでも出席し易いように、工夫をする必要があると思いますし、卓話の内容も皆さんが勉強になり、出席したくなるようなものを選択する必要があると思います。(既にやっていることと思いますが。)メイクアップにしても、サインだけのメイクアップは、本来の目的に合致しないと思います。1回でも多く、例会参加でのメイクアップに努めるべきでしょう。また、出席の義務はありますが、形式的な100%に拘泥することなく、1回でも多く例会に参加して刺激を受けるように心掛けることが重要だと思います。

また、親睦にしても、飲み食いをして楽しめば良いというのではなく、研鑽の場、ということを考えて、各種の親睦行事・活動を行えば、素晴らしいものになると思います。

また、職場見学とか金銭寄付事業とか体を張った奉仕活動とかを行う場合でも、その相手方の事業に対する心構え、社会奉仕に対する心構え、成功の秘訣等を話してもらえば、ロータリーの目的に合致した素晴らしいものとなると思います。

また、青少年育成は、まさに、次代を担う青少年の教育・育成にありますので、ロータリーにとって大変重要で独自性の高い素晴らしいプログラムと思います。その実践の仕方を、会員の勉強・刺激になるようなやりかたを工夫すれば、更に素晴らしいものとなると思います。

また、会報掲載内容にしても、例会結果報告にとどまらず、会員の皆さんが読んだ結果、自分の事業・生き方に参考になるような情報の掲載があると良いですね。また、対外的宣伝広告にしても、団体奉仕活動により「受け」を狙うものばかりではなく、その読者にロータリーの奉仕の心(特に「4つのテスト」等の奉仕の心)を

植えつけるような啓蒙的掲載があれば素晴らしいと思います。

皆さんの知恵を活かして、ロータリーの目的・本質及び職業奉仕の意味を知った上で活動をすれば、大変奥深く素晴らしいロータリーライフができるものと信じています。

ご静聴を有り難うございました。

ロータリーワールド

力強い講演者とともにクラブが病院船プロジェクトに乗り出す

ジョン・メージャー元英国首相が例会で講演すると知った米国フロリダ州、ジャクソンビル・ロータリー・クラブの会員は、地元他のロータリアンや、ロータリー以外の奉仕グループも招待しました。

例会の終わる頃には、ジャクソンビル・クラブは、Mercy Ships(経済的に最も困窮した国々で、医療と人道的奉仕を行なう病院船を運航する、テキサス州に本拠を置く慈善事業)支援のために多くの寄付金を集めました。ボランティアが運営するこの慈善組織は、メージャー元首相が後援者となっており、また、ジャクソンビル・クラブは最も力強い寄付者となってきました。

「通常、ただ何かの大義を支持するだけの講演者は招かないようにしています」とMercyShipsの理事でジャクソンビルのロータリアン、チャールズ・タワーズさんは説明します。「しかし、ジョン・メージャー元首相の講演は非常に説得力があるので、聴衆は寄付への圧力をかけられている気持ちはせず、すべてが自発的なものでした」メージャー元首相は400名のロータリアンとゲストに、国際関係と貧困国の現在のニーズについて話し、また、アフリカや他の発展途上国におけるMercyShipsの重要な働きについて言及しました。

2006年1月の土曜日の夕べに開催されたMercyShips主催の祝祭会に出席するため、元首相はジャクソンビルを訪問していました。「ロータリー・クラブで講演するために、2日余分にジャクソンビルに滞在するようお願いしたのです」とタワーズさんは言います。結果として、この病院船と慈善活動にとっては予定変更するだけの価値が得られました。

寄付金やロータリー財団をはじめとする各種リソースからの組み合わせ(マッチング)寄付を合わせると、ジャクソンビル・クラブは、MercyShipsが提供する無料診療と手術の奉仕活動に500,000ドル近くを集めたこととなります。

クラブも同様に恩恵を受けました。世界でも一流の講演者の話を聞けただけでなく、ジャクソンビルのロータリアンは、地元メディアからその募金活動とMercyShipsとの協力を取り上げた取材を受け、誰にとっても大成功の例会となりました。

Mercy Ships に対するロータリーの支援について、詳しくはwww.rotary.org/jump/mercyshipsをご覧ください。



病院船の船上で若い患者と遊ぶMercyShipsのボランティア。ジャクソンビル・ロータリー・クラブは、この米国の慈善団体のために500,000ドル近くを募金しました。

今週行事

10月18日(木)

職場例会

場 所:天然温泉 丸屋「玉ノ湯」

※例会・食事は12時より「懐仙」にて

次週卓話

10月25日(木)

会員卓話:馬場將嘉さん

テ ー マ:「米山奨学事業」